

9月10日(水)～16日(火)は自殺予防週間です ～ストレスが続いていませんか～

▷問い合わせ 障がい者・生活支援係 (☎223-3530)

ストレスが続いていませんか。ストレスを受けると、心身はショックを受けますが、その後に抵抗力を高めていきます。しかし、長引くことで次第に抵抗力は失われ、心身の状態は悪化していきます。ストレスは、自分でも気づかないまま抱え込んでしまうことが多いものです。限界を迎える前に、心身からのSOSを受け止めましょう。なお、つらいことや悲しいことだけでなく、喜ばしいこともストレスの原因になり得ます。ひとりで悩まずに、まずは相談してみませんか。

■一人で悩むより、まず相談を 主な相談窓口

【電話】

▷ふくおか自殺予防ホットライン

☎092-592-0783

(24時間365日対応)

フリーダイヤル

☎0120-020-767

(☎～☎・午後4時～翌日午前9時

土日祝日 24時間対応)

▷福岡いのちの電話

☎092-741-4343

(24時間365日対応)

▷北九州いのちの電話

☎653-4343

(24時間365日対応)

【SNS】

▷きもちよりそうライン@ふくおかけん

LINE ID: @469xxbam



※そのほかさまざまな相談窓口は、2次元コードからまとめて見ることができます。SNSでの相談もできます。



△まもろうよこころ
ホームページ

注文住宅
不動産売買
生前整理/遺品整理

リフォーム/リノベーション
解体工事(補助金あり)

住宅に関する
ことは何でも
お任せください!

お待たせしました! 不動産業を開始しました!

～芦屋町で創業61年
四世代で地域の家を守り続ける～

1964年に創業後、約60年以上にわたって芦屋町で住まいづくりに携わってきた経験を活かし、この度、不動産業の取り扱いを開始いたしました。

芦屋町や近隣地域で活用されていない、土地・建物がございましたら是非ご相談ください。
古い建物や家財道具が残った状態でも大丈夫です。

芦屋町で住宅を
建てたいけど、
土地が出ていない

中古戸建を購入後、
リフォームをして
暮らしたい

後継四代目 山元涼ノ介
故郷芦屋町に戻りました!!



このようなご相談をよくお受けします。
大切にされてきた不動産、新たな世代へ
良いご縁をつなげ、地域活性化のお手伝いをします。

●本社 遠賀郡芦屋町白浜町1番4号
●岡垣事務所 遠賀郡岡垣町糠塚1325番12


山元建設株式会社 ☎093-283-1006

広告

芦屋歴史紀行

その三百五十二

芦屋の八朔行事②

前回に引き続き、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された「芦屋の八朔行事」を紹介します。

○八朔のわら馬と団子雛

わら馬は、藁製の素朴な形の馬に、紙で作った武者人形と旗指物（はたさしもの）を乗せたものです。旗には「こういう人になつてほしい」という願いや、あやかりたいという思いを込めて、武将の名前を書きます。最近では、スポーツ選手の名前の旗を背負わせることもあります。このわら馬を、多い家では300体近く作り、飾ります。



△わら馬製作風景

だごびーなは、米粉を蒸した団子に彩色し、雛人形にしたものです。だごびーなは、厚紙の上に乗せた状態で飾られます。意匠（いしょう）に決まりはありませんが、縁起の良いもの

作られます。昔からよく作られるものに、はねそ盆踊りの姿のもの、鶴亀、巾着、花、ナスやダイコンなどの野菜、タイやイカなどの魚類などが挙げられます。昭和60年代以降になると、アニメや漫画のキャラクターを模した、かわいい趣向（しゅきやう）を凝らしただごびーなも見られるようになりました。



△だごびーな アッシー

○八朔の飾りつけ

わら馬とだごびーなは、ひな壇のように階段状の段を組み、飾られます。わら馬とだごびーなに加え、男児の場合は大将馬を、女児の場合はひなまつり用の雛人形を最上段に飾り、段の左右には、ツマガゴ（鳳仙花）を一对飾ります。ツマガゴは、左右で紅白にすることもあります。さらに、男児の場合は、段の背面に笹飾りを用意し、金銀の色紙と、竹ひごや爪楊枝で作られた弓矢や、ご祝儀などを下げて飾ります。女児の場合には、笹飾りはあまり飾

りません。また、漁師の家では、段の背面や周囲に大漁旗を張り巡らします。そのほかにも家紋入りの幔幕（まんまく）を使うことがあります。

○幸せのおすそ分け ウマモライ

八朔の翌日になると、こどもたちが行事のある家に行き、わら馬やだごびーなをもらいます。これを「ウマモライ」と呼びます。平成元年ごろまでは、午前0時、日付が変わると同時に、こどもたちがもらいに走る姿が見られていました。家の戸を叩き、寝ている家人（かじん）を起こしてわら馬やだごびーなをもらい、午前2時～3時には、わら馬はなくなっていました。現

在は、2日の午前7時過ぎくらいから近所の人に配られることもあります。



△ウマモライ

「八朔の節句」パネル展では、さらに詳しく紹介していますので、歴史の里へ見に来てください。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼まちのわだいに掲載している祇園山笠の取材に行きました。34℃を超える酷暑のなかでの開催。カメラ片手について行く私が、山車を引いていた皆さんより先にへとへとに。しかし、参加されていた皆さんの優しさのおかげでなんとか取材を終えました。優しくしてくださった皆さん、ありがとうございました。

（伊藤）

▼今年も1月号表紙写真のモデルになってくれる人を募集します。今年度二十歳を迎える人で、着物やスーツで前撮りをする人はいませんか。男女などは問いませんので、シティプロモーション係（☎223・3571）に連絡してください。

（手塚）

▼今年のあしや花火大会は花火の写真撮影のため、高台から花火を見ました。いつもは河川敷近くから花火を見ることが多かったのですが、高台から見ると花火は新鮮でした。また、花火の本格的な写真撮影は初めての体験で、通常の撮影と比べ、シャッターを押す時間の長さが違うなど工夫しながらの撮影は難しくも楽しいものでした。一眼レフカメラを持っている人は来年チャレンジしてみてもどうでしょうか。

（篠塚）

